

# 小田急電鉄 8000形

## 共通組み立て説明書

### 注意

お買い上げのお客へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れてください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカプラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカプラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気場機能異常が起こる場合があります。

### 〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っこ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

〈お買い上げのお客へ〉不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター

〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル 0570-041-101

受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)

PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター

〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

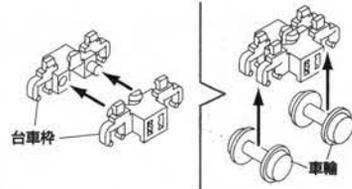
営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客相談センター共通

### シャーシの組立て

#### 1 〈台車の組立〉

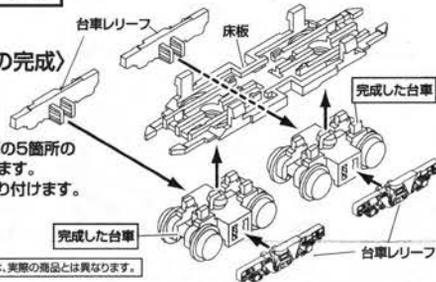
\*台車枠と台車枠を合わせて、車輪を取り付けます。

\*前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



#### 2 〈シャーシの完成〉

\*出来上がった台車の5箇所ツメを床板に通します。  
\*台車レリーフを取り付けます。



\*説明イラストの台車は、実際の商品とは異なります。

2種類ある台車レリーフを、号車に合わせて取り付けます。



### カプラーの取付け方



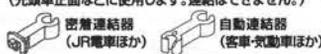
#### マグネットカプラー

\*磁石で連結・開放ができます。(極性(S-N)があるので、連結する向きに注意してください。)

ドローバー

\*2両を固定連結します。

ダミーカプラー (先頭車正面などに使用します。連結はできません。)



## Nゲージ化用パーツの取り付け方法

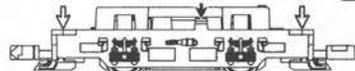
\*BTレインジョーティーは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

### ①機関車への動力ユニットの取り付け

●「BTレインジョーティー専用動力ユニット①・機関車用」を使用します。

通常色(黒)と、グレーがあります。

\*床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。



\*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。  
\*スノーブローは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

\*EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いカプラーの首振り先が十分にできません。直進運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

### ②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

●「BTレインジョーティー専用動力ユニット②・電車・気動車用」

もしくは「同 動力ユニット④・路面電車用」を使用します。



\*イラストは「動力ユニット②・電車・気動車用」です。「動力ユニット④・路面電車用」には前後のカプラーはありません。  
\*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。  
\*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ウエイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

### ③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

●「BTレインジョーティー専用・走行台車①」を使用します。

\*台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。  
\*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。  
\*旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止めの用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

\*台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。  
\*スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。  
\*新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

\*SHGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)  
\*先頭車でスカートとダミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。



\*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

●Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご注意ください。

\*線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通で使用できます。

\*Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。

●走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。

\*動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。

(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください)

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

\*EF64、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。

\*11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

通勤電車①コイルバネ台車タイプ DT339タイプ 103系など

急行電車①空気バネ台車タイプ DT329タイプ 165系 485系など

品番11-104 ティビ客車用動力ユニット

\*「ティビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

通勤電車②ポルスタレス台車タイプ DT61タイプ E231系など

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

### ■パンタグラフの交換

\*お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO:11-401 PS14:直流パンタグラフ グリーンマックス:80-2:PS13:直流パンタグラフ  
KATO:11-403 PS22:直流・下斜交差型パンタグラフ グリーンマックス:80-3:PT42:直流パンタグラフ  
KATO:11-404、11-420 PS16:直流パンタグラフ グリーンマックス:80-5:PT43:直流パンタグラフ  
クロスポイント:PT71C:シングルアームパンタグラフ

\*11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。

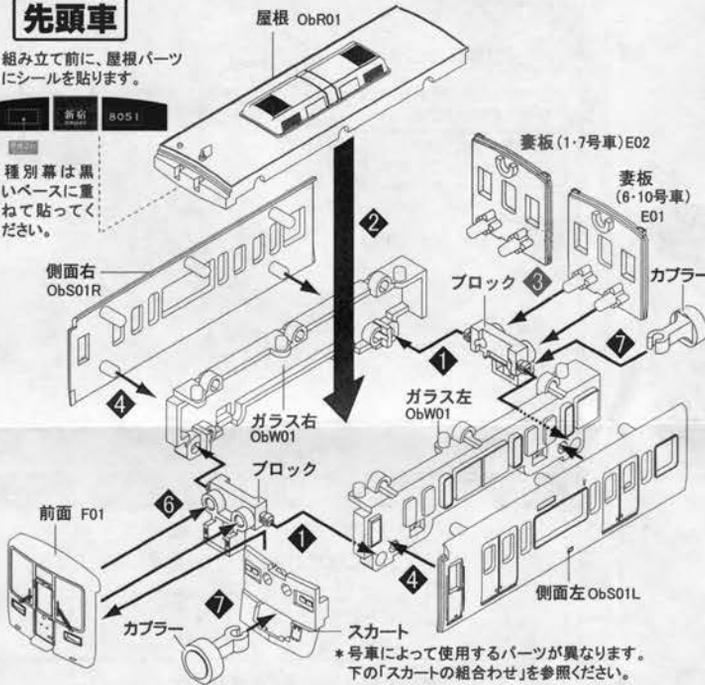
このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。  
\*各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(無い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。  
\*動力ユニットの装着には、車両によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

## 先頭車

屋根 ObR01

\*組み立て前に、屋根パーツにシールを貼ります。

\*種別幕は黒いベースに重ねて貼ってください。



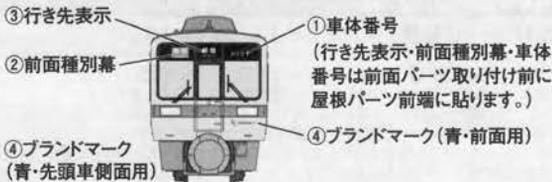
\*号車によって使用するパーツが異なります。下の「スカートの組合わせ」を参照ください。

### スカートの組合わせ



### ステッカーの貼付け位置

\*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものは好みの位置にお貼りください。)



※反対側も同じです。

### 実車の編成例

2013年5月現在

←新宿		実車の編成例										→小田原	
Tc1	M1	M2	Tc2	Tc1	M1	M2	T	M3	Tc2				
8050	8000	8000	8050	8050	8000	8000	8050	8000	8050				
10号車	9号車	8号車	7号車	6号車	5号車	4号車	3号車	2号車	1号車				
8051	8001	8101	8151	8261	8211	8311	8461	8511	8561				
8054	8004	8104	8154	8263	8213	8313	8463	8513	8563				
8064	8014	8114	8164	8266	8216	8316	8466	8516	8566				
8057	8007	8107	8157	8253	8203	8303	8453	8503	8553				
8066	8016	8116	8166	8256	8206	8306	8456	8506	8556				

## 車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。  
\*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。



- ②屋根を取り付けます。  
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。  
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせします。  
(中間車は完成です。)
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。  
(スカート付きの車両は、先にスカートを前面に取り付けます。)
- ⑦最後にカブラーをブロックのピンに取り付けます。

\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

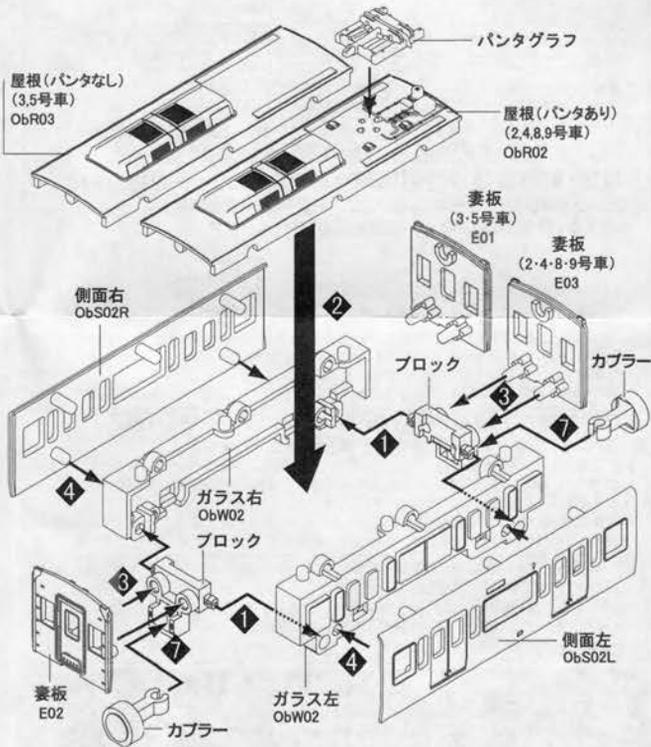
\*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

### 妻板の組合わせ



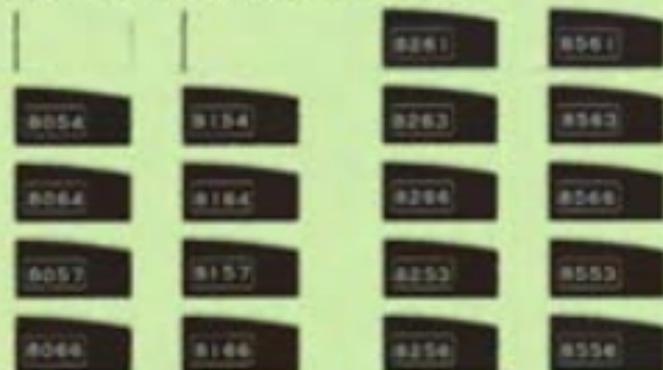
## 中間車

\*この製品は小田急8000形基本4両編成(新宿寄り4連)を組立てることができます。6連を再現したい場合は製品をお買い足しいただく必要があります。



# 小田急8000形4両セット

## ①車体番号(黒地は正面用)



←新宿

10号車 9号車 8号車 7号車

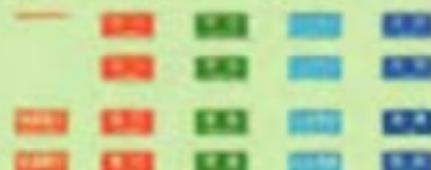
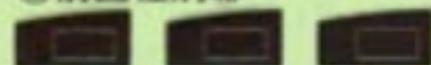
8051	8061	8151	8151
8052	8062	8152	8152
8053	8063	8153	8153
8054	8064	8154	8154
8055	8065	8155	8155
8056	8066	8156	8156
8057	8067	8157	8157
8058	8068	8158	8158

小田原→

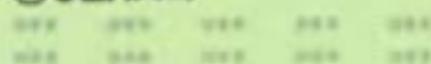
6号車 5号車 4号車 3号車 2号車 1号車

8061	8161	8251	8351	8351	8351
8062	8162	8252	8352	8352	8352
8063	8163	8253	8353	8353	8353
8064	8164	8254	8354	8354	8354
8065	8165	8255	8355	8355	8355
8066	8166	8256	8356	8356	8356
8067	8167	8257	8357	8357	8357
8068	8168	8258	8358	8358	8358

## ②前面種別幕



## ⑤OERロゴ



## ③行き先表示



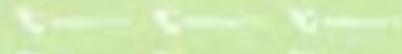
## ④ブランドマーク(前面用)



(先頭車側面用)



(側面用)



BANDAI MADE IN CHINA 2014